学校番号	2002B

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅰ	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	新編 数学Ⅰ （数研出版）						
副教材等	新課程 教科書傍用 3TRIAL 数学Ⅰ+A （数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

数学Ⅰでは、数と式・図形と計量・二次関数・データの分析など、高校数学の基礎となる内容を扱うため、授業で「分かったこと」「できるようになったこと」を確かめながら、「考えたこと」「工夫したこと」を自分の言葉で振り返り、さらに「疑問に思ったこと」「もっと知りたくなったこと」を大切にして一歩ずつ理解を積み重ねていけるように進めていきますので、気になることはいつでも気軽に相談してください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・数と式、図形と計量、二次関数およびデータの分析についての基礎的な知識や技能を習得する。

【思考力、判断力、表現力等】
・様々な事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】
・数学を問題の解決に活用する態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	数と式、図形と計量、2 次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数と式、図形と計量、2 次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理･法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数と式、図形と計量、2 次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理･法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1章 数と式	第１節 式の計算 １ 多項式の加法と減法 ２ 多項式の乗法 ３ 因数分解	a: 式の構造や整理の考え方を理解している。 b: 目的に応じて式を整理し、適切に計算できる。 c: 性質に着目して方法を選び、より効率的に扱おうとする。	ワークシート テスト 提出ノート	ワークシート テスト 提出ノート	ワークシート 観察 提出ノート
		第２節 実数 ４ 実数 ５ 根号を含む式の計算	a: 数の体系と基本性質を理解している。 b: 実数を用いて関係を表し、状況に応じて処理できる。 c: 数の拡張や表し方に関心をもち、整理して考えようとする。			
		第３節 １次不等式 ６ 不等式の性質 ７ １次不等式 ８ 絶対値を含む方程式・不等式	a: 不等式の意味・性質と解の捉え方を理解している。 b: １次不等式や連立不等式を解き、事象に活用できる。 c: 事象を不等式で表し、図や式で関係を確かめようとする。			
	第2章 集合と命題	１ 集合 ２ 命題と条件 ３ 命題とその逆・対偶・裏 ４ 命題と証明	a: 集合と言語・記号法の基礎を理解している。 b: 条件や関係を論理的に表し、妥当性を判断できる。 c: 命題の見方を広げ、反例や証明に着目して考察しようとする。	ワークシート テスト 提出ノート	ワークシート テスト 提出ノート	ワークシート 観察 提出ノート
	第3章 2次関数	第１節 ２次関数とグラフ １ 関数とグラフ ２ ２次関数のグラフ	a: ２次関数の表し方と特徴を理解している。 b: 式とグラフを対応付け、変換や性質を適切に扱える。 c: 特徴を多面的に捉え、比較しながら調べようとする。	ワークシート テスト 提出ノート	ワークシート テスト 提出ノート	ワークシート 観察 提出ノート
		第２節 ２次関数と値の変化 ３ ２次関数の最大・最小 ４ ２次関数の決定	a: 最大・最小の見方や条件の扱いを理解している。 b: 条件下で最値を求め、意味を踏まえて解釈できる。 c: 事象の最適化に結び付け、理由を整理して説明しようとする。			

		第３節　２次方程式と２次不等式 ５　２次方程式 ６　２次関数のグラフとx軸の共有点 ７　２次不等式	a: 解法や判別の見方とグラフとの関係を理解している。 b: グラフと結び付けて解や範囲を求め、条件を整理できる。 c: 関係を図示して全体像を捉え、筋道を立てて考えようとする。			
後期	第４章　図形と計量	第１節 三角比 １ 三角比 ２ 三角比の相互関係 ３ 三角比の拡張	a: 三角比の定義と基本性質を理解している。 b: 値や図を用いて適切に求め、過程を説明できる。 c: 身近な測定や課題に応用し、方法の妥当性を考えようとする。	ワークシート テスト 提出ノート	ワークシート テスト 提出ノート	ワークシート 観察 提出ノート
		第２節 三角形への応用 ４ 正弦定理 ５ 余弦定理 ６ 正弦定理と余弦定理の応用 ７ 三角形の面積 ８ 空間図形への応用	a: 正弦・余弦の関係と意味を理解している。 b: 辺や角・面積を求め、状況に応じて使い分けできる。 c: 図形の関係を探究し、複数の解法を比較しようとする。			
	第５章　データの分析	１ データの整理 ２ データの代表値 ３ データの散らばりと四分位数 ４ 分散と標準偏差 ５ データの相関	a: 代表値や散らばりの指標を理解している。 b: 目的に応じた手法で分析し、結果を適切に説明できる。 c: データで妥当性を検討し、説明を改善しようとする。	ワークシート テスト 提出ノート	ワークシート テスト 提出ノート	ワークシート 観察 提出ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度